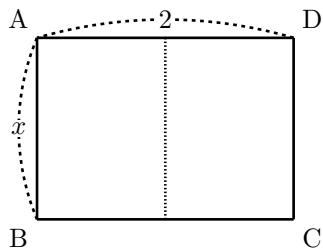


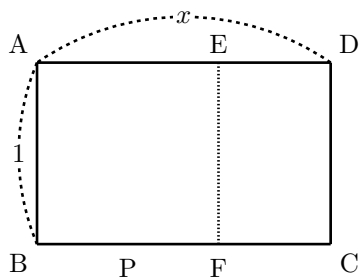
反射テスト 線分比 特別な四角形の辺の比 01

1. 長方形 ABCD がある. x を求めよ. (S 級 1 分 35 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分)

(1) $AB = x$, $BC = 2$. 図のように半分しても, 縦横比が元の長方形と同じである.



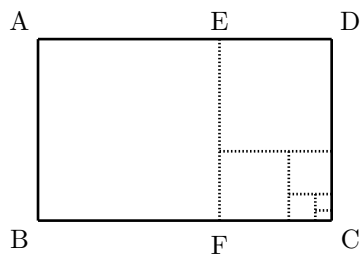
(2) $AD = x$, $AB = 1$. 下図で四角形 ABFE は正方形で, 四角形 DEFC が元の長方形と相似.



2. x を求めよ. (S 級 1 分 35 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分)

- (1) 長方形 $ABCD$ と長方形 $EFGH$ は相似で, 長方形 $EFGH$ の面積は長方形 $ABCD$ の面積の 2 倍であり, 長方形 $ABCD$ の長い辺の長さ と長方形 $EFGH$ の短い辺の長さが等しい. 長方形 $ABCD$ の縦と横の長さの比を求めよ.

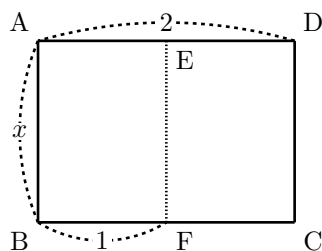
- (2) 横の長さが縦の長さより長く, 縦の長さの 2 倍より短い長方形 $ABCD$ がある. 下図のように, 長方形 $ABCD$ の内部に正方形 $ABFE$ を 1 つ作り, 長方形 $ABCD$ から除くと長方形 $EFCD$ が 1 つできる. 次に長方形 $EFCD$ から同じように正方形を 1 つ除くとまた長方形が 1 つできる. この作業を下の図のように永遠に繰り返せる場合, 元の長方形 $ABCD$ の縦と横の長さの比を求めよ.



反射テスト 線分比 特別な四角形の辺の比 01 解答解説

1. 長方形 ABCD がある. x を求めよ. (S 級 1 分 35 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分)

(1) $AB = x$, $BC = 2$. 図のように半分しても, 縦横比が元の長方形と同じである.



★ 四角形の相似

四角形 ABCD \sim 四角形 EABF であるから,

$$AB : BC = EA : AB$$

$$\Leftrightarrow x : 2 = 1 : x$$

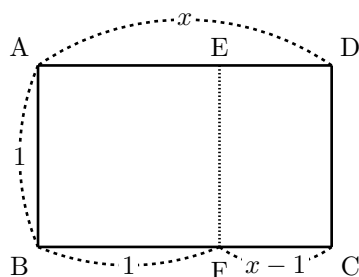
$$\Leftrightarrow x^2 = 2$$

$$x > 0 \text{ より, } x = \sqrt{2}.$$

★ 白銀比と白銀方形

上の長方形のように, 縦横比が $1 : \sqrt{2}$ の長方形を **白銀方形** という. また, $1 : \sqrt{2}$ の比を **白銀比** (*silver ratio*) と呼ぶ. 日本の紙の規格である A 判はこの白銀方形で, 半分に折っても縦横比は変わらない特徴がある. この比は, 大和比 (やまとひ) と呼ばれ, 代表的な日本建築である, 法隆寺の金堂・五重塔の柱間隔・軒の出のバランスに用いられている.

(2) $AD = x$, $AB = 1$. 下図で四角形 ABFE は正方形で, 四角形 DEFC が元の長方形と相似.



★ 四角形の相似

四角形 ABCD \sim 四角形 DEFC であるから,

$$AB : BC = DE : EF$$

$$\Leftrightarrow 1 : x = (x - 1) : 1$$

$$\Leftrightarrow x(x - 1) = 1$$

$$\Leftrightarrow x^2 - x - 1 = 0$$

$$x > 0 \text{ より, } x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}.$$

★ 黄金比と黄金方形

上の長方形のように, 縦横比が $1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$ の長方形を **黄金方形** という. また, $1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$ の比を **黄金比** (*golden ratio*), $\frac{1 + \sqrt{5}}{2}$ を **黄金数** と呼ぶ. フィボナッチ数列の隣接 2 項の比は黄金比に収束し, また, 正五角形の辺と対角線も黄金比 である. 昔から世界中で最も美しいと言われる比率で, 様々な分野で見られる.

自然: ひまわりの種の配列, オウムガイの殻.

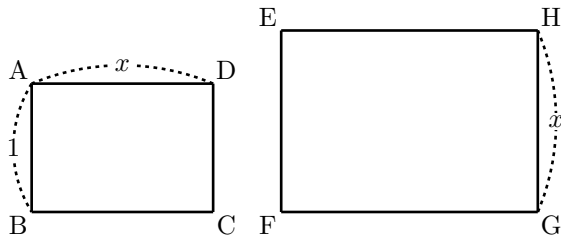
建築: 古代ギリシャのパルテノン神殿.

芸術: ミロのヴィーナス, ルネッサンスのレオナルド・ダ・ヴィンチの作品 (モナ・リザなど).

美容, デザイン: 現代のメイクアップ技術, クレジットカードや名刺の縦横比.

2. x を求めよ. (S 級 1 分 35 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分)

- (1) 長方形 ABCD と長方形 EFGH は相似で, 長方形 EFGH の面積は長方形 ABCD の面積の 2 倍であり, 長方形 ABCD の長い辺の長さ と長方形 EFGH の短い辺の長さが等しい. 長方形 ABCD の縦と横の長さの比を求めよ.



★ 四角形の相似

左図のように 2 つの長方形を横長とし,
長方形 ABCD の縦と横の長さの比を $1 : x$ とおく.
長方形 EFGH の縦と横の長さの比も $1 : x$ であるから,
横の長さは $x \times \frac{x}{1} = x^2$ である.

$$\text{長方形 ABCD} = 1 \times x = x.$$

$$\text{長方形 EFGH} = x \times x^2 = x^3.$$

面積が 2 倍であるから, $\frac{x^3}{x} = 2 \Leftrightarrow x^2 = 2$

$x > 0$ より, $x = \sqrt{2}$ となるから, 長方形 ABCD の縦と横の長さの比は, $1 : \sqrt{2}$.

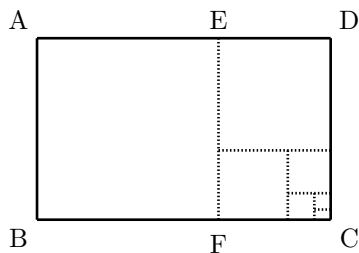
別解

面積比が $1 : 2$ であるから, 相似比は $1 : \sqrt{2}$ である.

長方形 ABCD \sim 長方形 EFGH として, $AB : EF = 1 : \sqrt{2}$.

題意から, $BC = EF$ なので, $AB : BC = 1 : \sqrt{2}$

- (2) 横の長さが縦の長さより長く, 縦の長さの 2 倍より短い長方形 ABCD がある. 下図のように, 長方形 ABCD の内部に正方形 ABFE を 1 つ作り, 長方形 ABCD から除くと長方形 EFCD が 1 つできる. 次に長方形 EFCD から同じように正方形を 1 つ除くとまた長方形が 1 つできる. この作業を下図のように永遠に繰り返せる場合, 元の長方形 ABCD の縦と横の長さの比を求めよ.



永遠に続けられるならば, 四角形 ABCD \sim 四角形 DEFC である.

★ 四角形の相似

長方形 ABCD の縦と横の長さの比を $1 : x$ とおくと,

$$AB : BC = DE : EF$$

$$\Leftrightarrow 1 : x = (x - 1) : 1$$

$$\Leftrightarrow x(x - 1) = 1$$

$$\Leftrightarrow x^2 - x - 1 = 0$$

$x > 0$ より, $x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$.

よって, 縦と横の長さの比は, $1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$.